

KALLPANDINA (南米音楽演奏)



KALLPANDINA (アンデスの力)

グループ名の「KALLPANDINA」とは、彼らの先住民族の言語ケチュア語で「アンデスの力」を意味します。

1996年 PERU-LIMA にてグループを創設。

主要メンバーは、ANTONIO (アントニオ)、JORGE (ホルヘ)、RAFAEL (ラファエル) の兄弟から成り、リマにて、数々のコンサート、イベントの企画、主催をし、活躍しておりました。

その後、2003年に二男のホルヘに東京ディズニーシーからの出演依頼があり、来日。

2008年に兄アントニオが来日し、KALLPANDINAの日本での活動が始動され、現在に至っています。

現在は兄弟二人でイベントやコンサート、ライブを中心に日本全国で活動しております。



JORGE TINTA (ホルヘ ティンタ)

Charango/Guitar/Zampoña/Panflute/Vocal

幼少の頃から兄弟と共にアンデス音楽を学ぶ。

WAYNARUNA-SIKURI (ワイナルナ・シクリ)、

LOS DOS GALLOS (ロス ドス ガヨス)、

ASOCIACION CULTURALFUERZA ANDINAの3つのバンドを経て、KALLPANDINA (カルパアンディナ) の創設から関わる。

特にCHARANGO (チャランゴ) の演奏は、LIMAでも5本の指に入る実力と言われている。

2003年に東京ディズニーリゾートからの出演依頼を受けて来日、ディズニーシーにて2年間演奏。ディズニーシーでは、Musician of the Delta のメンバーとして、ショーやテレビCMにも出演しておりました。



ANTONIO TINTA (アントニオ ティンタ)

Quena/Zampoña/Guitar/Vocal

ANTONIOも幼少からアンデス音楽や南米音楽を学び、数々のバンドで活躍をしてきました。

1996年PERU-LIMAにてANTONIOが現在のKALLPANDINAの前身となる"FUERZA ANDINA"を創設し、オリジナル曲の作詞作曲を手掛けながら、コンサートや数々のイベントなどを開催。

その後、2008年に来日し、現在はメインボーカルを担い、ギター、ケーナの演奏をしています。